

第5回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和4年11月7日(月) 19時-20時30分 姫路市総合福祉会館



リハ職が書いた情報提供書(リハビリテーション計画書)の内容をケアマネジャーとリハ職と一緒に読み取ることで、
《ケアマネ》生活機能の今後の可能性(将来予測)や、生活上の注意をどうやって確認するか
《リハ職》どんな情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのかについて考え、深めていくことを目的とした練習会になります。
第5回は、ケアマネジャー14名、リハ職16名が参加されました。

今回は、理学療法士会より事例提供(リハビリテーション計画書をご作成)をいただきました。コロナ第7波の余韻が残る中ですが、基本的な感染対策を守り、7つのグループに分かれて話し合いを行いました。「やっぱり、顔を合わせて皆と会話できるのがいいな。」という声が聞かれ、分からない事などを聞き合い、互いに学びを深める時間となりました。



今回の学び・気づき ~グループ発表のご意見より~

- ・《ケアマネ》計画書(紙)だけでなく直接の情報共有が必要
→《リハ職》カンファレンスの活用、送り合った情報のすり合わせが必要
- ・《リハ職》専門用語はケアマネさんに伝わらないので、どんな影響が出るのかが分かる表現にする。
→《ケアマネ》計画書の各表の見方(MMT、BRSなど)、紐付いていることがわかった。



《参加者アンケート 回答(一部抜粋)》

- ・専門用語の意味を理解し、本人や家族にケアマネからも声掛けをしていきたい(ケアマネ)
- ・目標設定には、ゴールを付けない方が本人様が取り組みやすい場合があるという意見を参考に、その人となりを観察しながら寄り添いたい(ケアマネ)
- ・リハ計画書の専門用語の解釈や連携すべき事柄がより明確になった(ケアマネ)
- ・担当者会議の際には、リハ計画書を持参し、お互いにすり合わせが必要だと思った(ケアマネ)
- ・専門用語を使わずに、日常生活動作と絡めて記述すると伝わりやすかった(リハ職)
- ・目標設定などを明確に、改善点は数値化するなど、わかりやすさに気をつけようと思った(リハ職)
- ・報告書など、専門的な表現を誰が見ても想像しやすいように意識できるようになった(リハ職)

「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は次年度も開催を予定しております【日時未定】
今後の研修会情報につきましては、センターのホームページでもご確認いただけます